

研究所だより

第283号

2009年6月29日

発行：土佐清水市教育研究所

TEL 82-3016

<シリーズ2 いじめの予防・早期発見のシステム作り>

(「いじめ」に学校はどう取り組むかー著者 坂本昇一) より抜粋

1. 子どもと教師の間のチャンネル

日記や個人ノート、個人面談等を活用することによって、子どもの考え方、感じ方、悩み、問題などを把握すると共に、過去と現在を比べることにより心の変化等を把握していく。こうした仕組みやシステムを作ることによって、子どもは孤立感から脱却することが出来る。

2. 教師間のシステム作り

ある中学校では、毎日、最終の時限が終了と同時に、全ての教師が必ず職員室に戻って、それぞれが今日担当した授業で気になった子どもの氏名と行動内容を一人ひとり所定のカードに書いて、それを各学級担任教師に渡す。これが終了して初めて部活動の指導に入ったり、学級の放課後の活動の指導に行ったりする。これを円滑にするために、一定の様式のカードをあらかじめ作っておき、各教師は、毎時間終了後に気になった子どもの記録をカードに取っておくというものである。また、このような時間を割くことが出来ない場合は、週1回の職員会、校内研等で気になる子どもの情報交換をし、子ども理解を深めていく。

いじめの問題を担当だけの責任とすることなく、また、担任一人が背負い込むことなく、互いに子どもへの共通認識を持ち、学校全体、教師全員で取り組み、協力体制を整えることがいじめの予防・早期発見の効果的な方法の一つである。

それぞれ学校に応じた方法でシステム作りを考えてみてはどうでしょう。



<第2回わくわく英語講座>

宿泊学習や修学旅行の準備等、色んな行事が重なって参加者が少なかったのですが、第2回わくわく英語講座を開催しました。

【参加者の声】

T：今日は人数がとても少なく帰ろうかと思ったりしたのですが、思い切って残ってやって良かったと思いました。少ない分、恥をかいても良いかな？と思って、リラックスしてやれて良かったです。

S：普通に楽しくて勉強になりました。一人ひとりが実践してやったので、体で覚えられたという感じです。また、途中途中で質問の場を作ってくれたので大変助かりました。ありがとうございました。

S君は「あすなる教室」の卒業生ですが、通所してきたときには、先輩として、在級生に教科指導をしてくれたり、生活面でのフォローをしてくれています。今、本人は大学受験に向けて自分なりの勉強をしている最中です。頑張りよ。

<英語活動の工夫>

15時間以上の英語の授業時間が義務づけられて、小学校の先生方は本当に大変ですね。そこで、お役に立てば。

昨年度までは、英語活動はALTに任せればよいという意識があり(失礼)、担任は教室の後ろで見たりしていることなどが多かったのではないのでしょうか(またまた失礼)。子どもは、ALTの話す英語を理解できず、更に活動の狙いも明確にしていなかったため、分からない、面白くないが生じていたのではないのでしょうか。

まず、英語活動における型の設定や、活動の流れを明確に示せば、先生方もある程度楽になるのではないのでしょうか。型があればALTとの打ち合わせも、言語材料やゲームの内容なども最小限で済みます。子どもも安心して活動に臨め、主体的に学ぶようになってきます。

次に、担任は、「もう少し話せるようにしたい」という思いから、言葉や表現の指導を増やすということがありますが、それをすると子どもの反応が悪くなったという例があります。子どもは、自信がないことは表現しませんが、気持ちが引いてしまいます。たくさん知識を覚えさせるのではなく、少ない知識でいかに多様な表現をさせるかを心がけてみてはいかがでしょうか。

英語の苦手な先生も、まずは先生からやってみせるとよいでしょう。英語の発音が気になったり、頭で分かっているても声に出せなかったりというようなことは多々あることです。ALTには発音を任せておけばよいですし、ゲームなどのデモンストラクションをお願いしておけばよいと思います(ALTはあくまでもサポート役)。そして、担任はよく使う英語の表現をメモをして手元に持ち、さりげなく見ながら言うようにしたらどうでしょう。子どもに積極的に表現させるには、まず担任がやってみないと。身振り手振りで表現していけば子どもも安心するかも。担任が主導する意味がそこにあります。そして、ALTとの役割分担を工夫し、確認をすればよいと思います。あくまでも主導は担任です。

学習活動の例として

- ① Greeting (挨拶) (2分)
- ② Song (3分)
- ③ Review (復習) (5分)
- ④ Chant (5分)
- ⑤ Game 並びに本時の展開 (25分)
- ⑥ Comments (感想発表) (4分)
- ⑦ Greeting (挨拶) (1分)



研究所では、小学校の先生方のお役に立てばと思い、次の教材を購入しました。是非ご利用ください。なかなか良いですよ。(推薦順)

- ① CD付き読み聞かせ英語えほん(日本語訳付き)
- ② 話せる!遊べる!英語
- ③ らくらくピクチャーカードセット
- ④ 英語活動ソング・ゲーム集
- ⑤ 英語の遊び歌